

【1.大会概要】

正式名称	第39回筑波大学オリエンテーリング大会
日時	2019年12月1日(日)
開催地	茨城県石岡市大增地区
主催	筑波大学体育会オリエンテーリング部
後援	石岡市、石岡市教育委員会、日本学生オリエンテーリング連盟、茨城新聞 関東学生オリエンテーリング連盟、石岡商工会、ときわ走林会
協賛	SalmingJapan、EverNew、O-Support、茨城県フラワーパーク 木内酒造、Yasato de トレタ、東筑波ユートピア ぶれっどのケーキ屋さん、FIREE



サポート 役員

RedBull
実行委員長：谷野文史(筑波大学 2017 年度入学)
競技責任者・調査責任者：宮本和奏(同上)
運営責任者：小山正伍(同上)
渉外責任者：前田典歩(同上)
会計責任者：野口珠希(同上)
総務責任者：柿沼晴喜(同上)
広報責任者：伊藤祐(同上)
資材責任者：高柳知朗(同上)
コースセッター：小牧弘季(同上)
コントローラー：阿部稜(京葉オリエンテーリングクラブ)
監修：小泉成行(O-Support)

【2.オリエンテーリングについて】

オリエンテーリングは特別に作られた地図を使って大自然の中を駆け巡り、チェックポイント（コントロール）を辿りながら可能な限り短時間で走破するスポーツです。地図読みやナビゲーション技術とアウトドアレクリエーションを繋ぎあわせた、とてもチャレンジングなスポーツです。

（日本オリエンテーリング協会 HP より）

詳しくは日本オリエンテーリング協会のホームページをご参照ください。
日本オリエンテーリング協会 HP (<http://www.orienteering.or.jp/lets/>)

【3.アクセス】

会場名

恋瀬小鳥の森幼保園旧園舎および林間学校こたりの森駐車場
(〒315-0101 茨城県石岡市大增 416-1)

駐車場

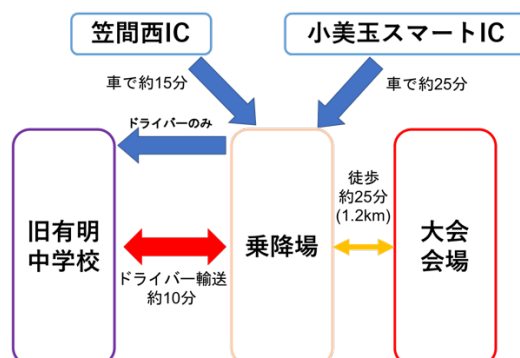
旧有明中学校 (〒315-0161 茨城県石岡市小埜 189-2)

「笠間西 IC」より車で約 15 分

「石岡小美玉スマート IC」より車で約 25 分

ドライバー輸送

駐車場と会場に距離があるためドライバーの輸送を行う予定です。指定の乗降場にて同乗者を降ろし、駐車場に向かっています。駐車場からはドライバーの輸送を行います（エントリー時のドライバー数の把握にご協力ください）。

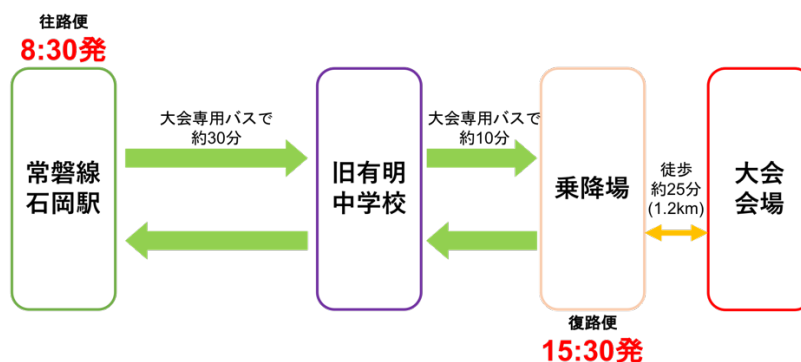


大会専用バス

大会専用バスを運行いたします。スケジュールは以下の通りです。

※大会専用バスの利用を希望される方は事前申込み(往復 1000 円)を行ってください。

往路便 8:30 石岡駅発 復路便 15:30 乗降場発



エリアマップ

https://www.google.com/maps/d/embed?mid=1KbQpSw7_xKS4hQ0wG2QDYNB7V2GROZrl

【4.タイムスケジュール】

08:30	大会専用バス 石岡駅発
09:00	開場
09:15	受付開始
10:00	講習会(前半の部)
10:40	講習会(前半の部)トップスタート
10:40	講習会(後半の部)
11:20	講習会(後半の部) トップスタート
13:30	表彰式
15:30	大会専用バス 乗降場発
16:00	会場閉鎖

【5.競技情報】

競技形式

個人によるポイントオリエンテーリング

(ロゲイニングと異なり、順番にチェックポイントを回ってフィニッシュまでにかかったタイムを競います。)

計測には電子機器(EMIT 社製電子パンチングシステム)を使用します。計測用の電子機器は事前にレンタルをすることができます。

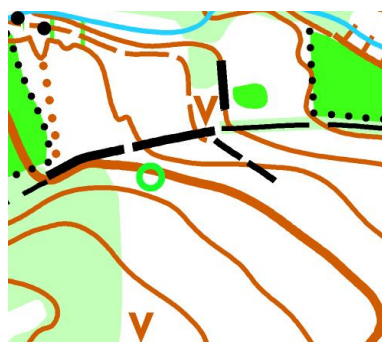
地図情報

名称 「加波山麓」
(筑波大学体育会オリエンテーリング部 2019 年度作成予定)

縮尺 1 : 10000

等高線間隔 5m

オリエンテーリング専用マップを利用 (当日、スタート前にも簡単な説明を行います)



サンプルマップ

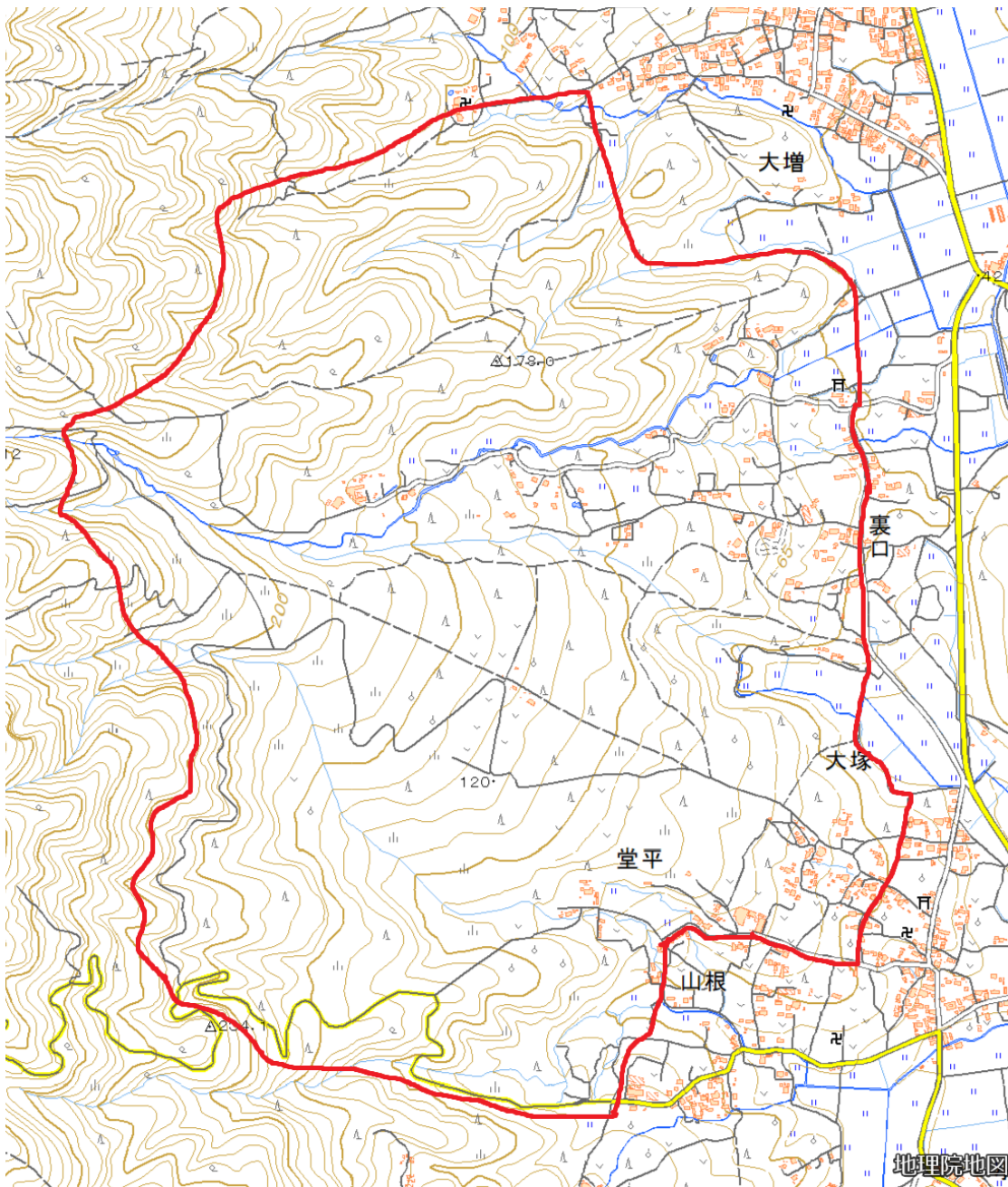
上記のようにオリエンテーリング専用マップには、等高線など地形的な特徴や、道/トレイルの様子 (黒の線)、植生の様子 (緑色)、を詳細に記載しています。

競技エリアの特徴

本大会のトレインは茨城県石岡市八郷地区の標高 50-200mに位置する、加波山の麓の緩やかな片斜面である。トレインは主に針葉樹で構成されており、走行可能性が非常に高いエリアと茨城らしい見通しの悪いエリアが存在しているほか、岩場が点在している。トレイン内には主要道は存在するものの、小径は比較的少ない。

立ち入り禁止区域

本大会に参加を予定している方の、大会前日までの「加波山麓」(下図の赤線で囲まれた範囲)へのオリエンテーリング目的での立ち入りを禁止します。



コース

ナビゲーションの難易度は初心者レベル(道/小径を主体としたナビゲーションを競います)、優勝設定時間は50分、距離は5km程度を予定しております。

競技時間は、120分です。

【6.ナビゲーション講習会】

レース前にナビゲーションスキルの講習とオリエンテーリングで用いる地図の説明を行います。また、レース後にはレースの振り返りなどを予定しております。

【7.当日の流れ】

受付

大会会場に着きましたら、受付にて出走に必要な競技用具をお受け取り下さい。

講習会

指定の時刻に大会会場付近にて講習会を行います。レースの準備を済ませた上でご参加ください。

前半の部と後半の部の2部制となっているため、申し込みの際に希望をお書きください。

スタート

講習会后、係員がスタート地区まで案内いたします。出走時刻は事前に Japan-O-entrYにて公開いたしますので、ご確認ください。スタート時刻の3分前になりましたら名前をお呼びいたしますので、スタート役員の指示に従い、スタート枠へお入りください。1分前になりましたら、地図が配布されますが、スタート時刻になるまでは絶対に見ないでください。スタート時刻になりましたら、スタートの合図とともにスタートユニットをパンチしてから出走してください。スタートフラッグ（地図上の△）までは赤白テープ誘導をたどってください。

競技中

講習会でも説明を行いますが、地図上にて立ち入り禁止区域で示されている場所には立ち入らないように注意してください。また、地図の範囲の外に出ないようにお気を付けください。

フィニッシュ

競技終了後、フィニッシュ（地図上の◎）にて帰還者チェックを受けてください。また、競技時間（120分）は厳守してください。競技時刻を超えそうになったら、途中でもフィニッシュを目指し必ずフィニッシュを通過してください。会場までは係員の指示に従って移動してください。会場到着後、計算センターにてEカードの読み取りを行い、レンタルしたEカード等は返却してください。

レースの振り返り

講習会を行った場所でレースの振り返りを予定しています。是非ご参加ください。時刻は事前にお知らせいたします。

表彰式

表彰式は 13:30 を予定しております。表彰対象者の方をおよびいたしますので、壇上にお上がりください。

【8.参加費】

参加費は講習会費・計測用の電子機器のレンタル代込みで 5,300 円です。
電子機器(EMIT 社製電子パンチングシステム)をお持ちの方は 300 円引きです。
※常磐線石岡駅を往復する大会専用バスのお乗りの方は別途 1,000 円がかかります。

【9.エントリー】

Japan-O-entrY にて受け付けております。申し込みフォームに従ってエントリーをしてください。

【10.広報】

Twitter やホームページにて大会情報を随時公開・更新しております。
ぜひご覧ください。

大会ホームページ：<http://www.orienteering.com/~tsukuba/39/>

大会 twitter：[@tsukuba39th](https://twitter.com/tsukuba39th)

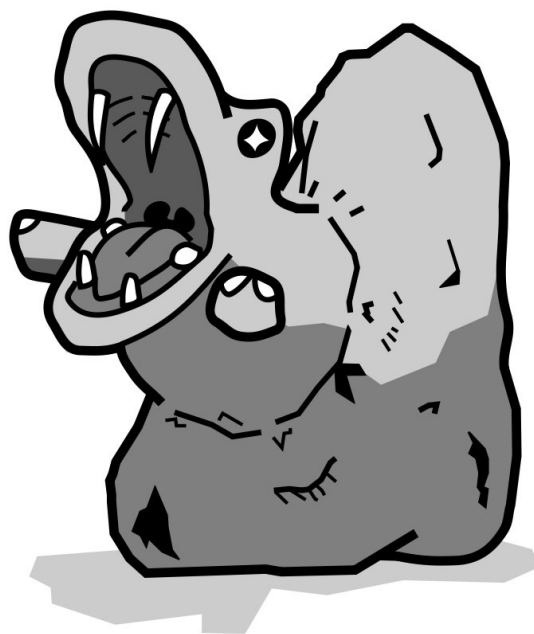


【11.注意事項】

- ・要項及び大会情報を変更する際は随時、変更点を明示していきます。
- ・ご自身及び他人に与えた損害に関して、一切の責任を負いません。
- ・公序良俗に反する服装での出走はご遠慮ください。
- ・いかなる理由につきましても参加費の返金はありません。ご了承ください。
- ・参加者を対象とした傷害保険に加入しますが、保険金には限りがあります。
- ・申し込みの際にいただいた個人情報は本大会の運営のみに使用いたします。
なお記録及び大会で撮影した写真や動画は大会広報などに掲載することがあります。

【12.お問い合わせ】

ご不明点、ご質問などございましたら下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
tsukuba.ol.comp39★gmail.com(★を@に変えてください)



第39回筑波大大会マスコットキャラクター
びるへたぼ



O-Supportは
オリエンテーリングを
愛する皆さんと
第39回筑波大大会を
応援しています。

オリジナルデザインの **noname**
オリエンテーリングウェア作成を
承っております。

O-Support Webshopでは
nonameウェアの他にStr8コンパスや
NViiオリエンテーリングシューズなど
オリエンテーリング用品を販売中！

 **noname**

stro

NVii



www.o-support.net

アスリートとサポートスタッフのみなさんへ。

なぜ、私たちにとって、アンチ・ドーピングの
知識や活動が必要なのでしょうか？

アンチ・ドーピングは、たんに
「不正する人を見つけ、不当な勝利を防ぐ」ための活動ではありません。

アンチ・ドーピングは、スポーツを成り立たせている
「みんながフェアであること」を守るためにあります。
全員がフェアでなければ、そもそもスポーツは成り立たない。
すべての人が、スポーツに参加し、公平に競い合うことができる。
その権利を守るために、アンチ・ドーピング活動があります。

そして、もうひとつ。アンチ・ドーピングは、
「スポーツが生み出す価値」を守るためにあります。
挑戦する心、相手へのリスペクト、そこから生まれる友情、
そんな、社会にとっても大切な価値を守るためにあります。

フェアであることを守り、スポーツの価値を守る。
そのいちばん中心となるのが、アスリートとサポートスタッフのみなさんです。
みなさんが、フェアであることをつねに誇りに思い、
その大切さを、世の中に示すこと。
それこそが、スポーツの発展を支え、よりよい社会をつくる力になります。

フェアであることの誇りを胸に、素晴らしいスポーツの価値を、
ともに広めていきましょう。



勝利を超える価値がある

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構